

JIS H 8643 溶融亜鉛アルミニウム合金めっきが制定されました。

塩害に強い溶融亜鉛アルミニウム合金めっきの JIS が 2019 年 11 月 20 日に制定されました。当 JIS は純亜鉛から成る浴でめっきを行った後、亜鉛-4~10%アルミニウム合金（マグネシウムは 3%まで含有可）から成る浴でめっきする工程で施工されるものです。めっきの種類は、下表の通り平均膜厚で規定する 1 種及び付着量で規定する 2 種に区分され、規格値はそれぞれ 3 種類あります。弊社の溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき「タナカ-AZ」はこの JIS に準拠(*)する事が可能です。

* JIS 制定直後のため認証機関による JIS H 8643 の登録が整っていないことから、JIS マークの認証の手続きが未だできておりません。従いまして当事者間の協定による JIS 準拠の扱いとなります。

規格の種類と膜厚および付着量

種類		種類の記号	規格値		適用例（参考）
1 種	25 A	HZA 25 A	平均膜厚 25 μ m 以上	最小膜厚 18 μ m 以上	直径 12 mm 以上のボルト、ナット、厚さ 2.3 mm を超える座金など
	36 A	HZA 36 A	平均膜厚 36 μ m 以上	最小膜厚 25 μ m 以上	厚さ 1.6 mm 以上の鋼材、鋼製品など
	50 A	HZA 50 A	平均膜厚 50 μ m 以上	最小膜厚 36 μ m 以上	厚さ 6.0 mm 以上の鋼材、鋼製品、 鋳鍛造品など
2 種	18 B	HZA 18 B	180g/m ² 以上		直径 12 mm 以上のボルト、ナット、厚さ 2.3 mm を超える座金など
	25 B	HZA 25 B	250g/m ² 以上		厚さ 1.6 mm 以上の鋼材、鋼製品など
	35 B	HZA 35 B	350g/m ² 以上		厚さ 6.0 mm 以上の鋼材、鋼製品、 鋳鍛造品など

1 種は、平均膜厚で規定し、磁力式の膜厚計によって試験ができるものに適用する
2 種は、付着量で規定し、磁力式の膜厚計によって試験ができないため、JIS H 0401 の間接法によって試験を行うものに適用する。



タナカ-AZ の適用製品例（落橋防止ブラケット：左はめっき状況・右は設置状況）